

# 掴め君の未来を!

共通テストまで残り75日です。3年生は、クラスの雰囲気も受験色が非常に強まっていく頃です。もしかすると、不安や焦りからくるプレッシャーで苦しんでいる人がいるかもしれません。でも「受験は団体戦」という言葉がある通り、第一志望大学合格という同じ目標を持つ多くの仲間がいることを忘れずに。もちろん、保護者の方や慶進の先生も応援しています。自信を持って、勉強をがんばってください。また、そろそろ併願校受験を含めた受験計画を設定する時期になりました。「併願プランの原則」という記事を掲載していますので、参考にしてください。

2年生は、11月になり、部活動や校外活動などで忙しい人も多いかと思いますが、毎日の学習はきちんとできているでしょうか。高校生活も後半戦を迎え、いよいよ皆さんも「受験生」に変わる時期です。今の時期から志望校合格という目標を設定し、受験を意識した学習に取り組んでいきましょう。

1年生は、いよいよ文理選択の調査が目前に迫ってきました。職業や学問の探究をした上で、入試科目を調べたり、先生や保護者とも相談したりして、納得のいく文理選択を行きましょう。

## ●大学入試トピックス 2022年度国公立大入試(現高3の入試)はこう変わる!

国公立大の入試概要をまとめた『選抜要項』が全て出そろった。「コロナ禍」の下でも、2021年度入試に予定していた実施方法に戻す傾向が見られる。その中から、志願動向に影響しそうな変更点を紹介する。

21年度入試ではコロナ禍に対応するため、個別試験(以下、2次)の実施を取りやめたり、面接をオンライン化したり、集団討論や集団面接を個人面接に切り替えたり、調査書の点数化を見送ったりする大学が見られた。22年度入試は、感染対策をしながらの実施方法が定まったこともあり、横浜国立大学が2次を復活するなど、本来予定していた入試方式や選抜方法に近い形で、選抜要項を発表した大学が多い。一方、調査書・志望理由書の点数化を取りやめたり、集団討論や集団面接を個人面接で代替したりする傾向は、21年度と変わらない。今後の感染状況次第では、22年度入試でも前年と同様、コロナ禍対応の「再変更」の可能性があるので、大学ホームページで最新の発表をこまめにチェックしよう。

変更点が比較的小さい場合、変動要因として共通テスト(以下、共テ)の難易と、前年の志願者増減や倍率アップダウンの反動が強く作用する。21年度は当初の予想を覆し、共テの平均点はアップしたが、制度変更の翌年は共通一次試験やセンター試験の時も出題が難化したので、22年度の共テも平均点ダウン(特に数学Ⅰ・A、数学Ⅱ・B、生物)、つまり難化が予想され、国公立大出願の不安材料となるものと見られる。コロナ禍による「大都市圏回避、超地元志向」と経済不安から21年度に人気を集めた公立大後期が、その反動でやや志願者減か。一方同様の理由から「志願者減・合格者増」で易化した難関～準難関私立大へ、狙い目と見て国公立大志望者の一部が流出する可能性がある。このため、22年度国公立大一般選抜はやや志願者減が見込まれる。注意すべきは「前年の反動」。中国・四国、九州など、地区内で極端な志願者増減が生じがちなので、前年度の入試結果を気にしすぎないようにしたい。なお、個別の大学では、横浜国立大・富山大・長崎大・大阪公立大あたりが周囲の志望動向に影響を与えそうだ。

## ●小論文と面接の直前対策

### ① 小論文の直前対策

小論文は添削に足を運んだ数だけ力になる。小論文を書く上で大切なことは、①課題文を読み取る力をつけること、②志望する分野に関する知識を深めること、③繰り返し添削指導を受けることの3つです。これらの対策を進める中で、要約する力、自己の考えに具体性を持たせる知識、説得力のある論述や適切な文章表現が身につくはず。後は、志望する分野に関する記事や資料を整理し、入試直前まで使えるファイルを上げましょう。その時自分ならどう問題をとらえるか、自問しながら整理すると今までの復習になります。知識を深めるには、1つのテーマを複数の視点から記述している対論型の本を参照するのがオススメです。

不安な人は、直前まで先生に添削指導をしてもらいましょう。小論文の添削指導では、文章のつながりや表現、設問に沿った論理展開、根拠や具体例に説得力を持たせる方法など、多くの改善するポイントを先生に指摘してもらえます。何度も添削指導を受けることで、合格水準に達する小論文に改善していきましょう。また、論述や表現などのスキルだけでなく、指導の合間に話してくれる話題が緊張を解き、思考の幅を広げてくれます。

### ② 面接の直前対策

面接の流れを意識しつつ志望の熱意を伝えよう。面接には個人面接、集団面接、集団討論があります。共通していることは、明確な目標を持ち、入学後に大学で力を発揮できる受験生を大学が求めていることです。そのため、面接で大切なのは次の3つです。1つ目は、志望の熱意を伝えること。自分の経験に基づく志望理由や、目的を実現するために最適な環境であることを具体的に伝えます。2つ目は、面接の流れを捉えることです。個人面接では、面接官の質問の意図を外さないよう注意しましょう。集団討論では、全体の流れの中で自分の意見だけでなく、相手の意見を聞き入れながら結論を導き出す協調性が求められていることを忘れずに。3つ目は、模擬面接を繰り返すことです。予想される質問は、質疑応答用のファイルに整理して学校の先生の添削指導を受け、ブラッシュアップさせましょう。面接練習を動画で撮影すると、態度や表情の確認ができます。自信が持てれば、集団面接でも周囲の緊張感に負けません。

## ●先輩の合格体験記

東京大学理科三類 (中高一貫コース卒業)	大阪大学外国語学部 (アドバンスコース卒業)	山口大学工学部 (グローバルコース卒業)
<b>【後輩へのメッセージ】</b> とにかく教科書の理解が肝要です。とはいえ、ある程度できたら見切りをつけて演習することです。その中でわからないことがあればすぐに先生に聞くのではなく、教科書に立ち返り、自力で理解して深い理解をすることです。 『物理難問題の系統とその解き方』という本の前書きが、私の勉強法に多大な影響を与えました。一読ください。 <b>【共通テスト(センター試験)前の心境は】</b> 3日前くらいからやればいいのかと悩んでいましたが、始業式で周りに聞いたらみんな思ったよりやっていて焦りました。模試みたいな気持ちで受けたのであまり緊張しませんでした。模試と同じような点数に終わりました。	<b>【後輩へのメッセージ】</b> 私にとって日々の授業と課題を真剣に一つ一つこなすことがすべてのベースでした。これはとても効率が良いと思っていて、なぜなら、後で理解する時間を別に設ける必要がなくなるし、いろんな教材に手を出す必要もないからです。加えて、分からないことを残さないことと、毎日やるべきことを決めることも大切にしました。自分の性格、勉強の仕方、生活リズム等自分をしっかり見つめて自分にあった受験生生活を送れば、合格できると思います。自分を信じて頑張ってください。	<b>【後輩へのメッセージ】</b> 自分は「部活動」や「遊び」など色々なことを我慢しました。長時間勉強をすることを毎日続けました。当時はすごくストレスに感じましたが、苦勞するという貴重な経験ができました。確かに推薦入試は一般入試に比べると早く終わります。ですが、苦勞したからこそ見える世界があると思います。将来、後悔しない進路を選んでください。 <b>【共通テスト(センター試験)前の心境は】</b> 自分はすべり止めを受けていなかった。不安もありましたが、ただひたすら勉強するようにしました。

## ●併願プランの原則

共通テストまであと少し。これからは第1志望校と併願校を絞り込み、効果的な併願プランを立てて受験に臨みたいところです。でも、併願のメリットを最大限に生かし、デメリットを最小に抑えた理想的な併願プランで受験に臨み、第1希望合格をつかんでほしい。

- 原則1 第1志望の合格を最優先に考える**  
悔いを残さないための大前提。いろんな大学・学部に移りして、ここを忘れないように!
- 原則2 入学する意思のある大学を併願する**  
教育内容、校風、環境など、各大学の情報を集めて、「行きたい併願校」を探そう。
- 原則3 併願のメリット&デメリットを理解する**  
「一発勝負の不安を軽減、試験慣れる」などメリットも多いが、「試験対策の手間が増える、受験が多いと疲れる」などのデメリットも。第1志望の受験の妨げにならないプランを組もう。
- 原則4 併願の目的とその優先順位を明確にする**  
例えば「本命前に自信をつける」「難関大に合格する」など目的を明確にすれば、プランニングの軸がぶれません。

**注意事項** 受験の手間や受験料を減らすため、併願校受験を「共通テスト利用入試」でのみの受験でプランニングする生徒がいます。ただ、「共通テスト利用入試」での合格は一般入試に比べ難しい傾向にありますし、共通テストで思うような点数を取れなかった場合、総崩れすることになります。ですので、一般入試で受験する併願校も出願することをオススメします。(私立大学の多くが、共通テスト実施日の直前・直後までに出願期間を設定しています。要注意!)

## ●「郷働ネット」活動報告

郷働ネットとは、慶進生が故郷「宇部」の地域社会とつながることにより、自分の将来に役立てるだけでなく、「宇部」の将来にも貢献していく生徒主体の活動です。現在、自分の気になる職種の仕事を体験する「職場体験」など様々な活動をしています。昨年度は、宇部市内の企業でインタビューをし、その対談様子を配信する「郷働Meet」や、生徒自らが宇部市内の飲食店と交渉し、慶進高校内で販売してもらう「flor(フロル)」というイベントなどを開催しました。今年度も、コロナ禍において安全を担保しつつ、手探りで挑戦できることを実施しています。



(昨年度の「flor(フロル)」の様子)

## ●共通テスト模試受験のすすめ

第3回進駿模試が終わると、3年生はもう校内模試はありません。これから、各予備校が実施する「共通テスト直前模試」に申し込んでみましょう。共通テストは今回が二回目で、傾向がまだ掴めていない部分が多いので、色々な予想問題に当たっておくのは大事です。また、外部の試験会場の独特の雰囲気は、校内模試では経験できないものであり、外部受験の経験のない人は是非一度経験しておきましょう。特に、北予備の「共通テストファイナル」は、毎年大半の3年生が受験しています。(慶進の先生の中にも、昔、受験した人が多いですよ!)

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、外部会場での模試受験が難しくなる場合があります。ご注意ください。

## 11月の進学スケジュール

- 5日(金)・6日(土) ベネッセ総合学力テスト(ⅠⅡ)
- 7日(日) 実用英語技能検定二次試験 A 日程
- 9日(火) 高大連携行事(ⅠⅡG)
- 13日(土) Literas 論理言語力検定
- 14日(日) 実用英語技能検定二次試験 B 日程
- 20日(土) 進学ガイダンス(ⅠA)
- 22日(月) 期末試験日割発表
- 23日(火) 実用英語技能検定二次試験 C 日程
- 29日(月)~12月3日(金) 期末試験